

第 52 回
UNIRITA ユーザ会
総会議案

第1号議案 2024年度活動報告

1. 2024年度活動グループ一覧

2024年度研究グループ:26グループ

地域	研究部会	No	研究グループ名	メンバー数	
東日本	東日本情報活用	IE01	これからの IT	9	
		IE02	生成 AI の新たな活用法①	8	
		IE03	生成 AI の新たな活用法②	9	
		IE04	BizDevOps とデザイン思考	8	
		IE05	世代とダイバーシティ	8	
		IE06	令和時代の UI/UX	7	
		IE07	今から始める DX①	8	
		IE08	今から始める DX②	7	
		IE09	IT 業界のカーボンニュートラルを考える	4	
		IE10	システム開発のスキル継承	5	
				東日本情報活用研究部会合計	73
	東日本システム運用	OE01	運用管理事例	23	
		OE02	目指すべき運用人材像とキャリアプラン	8	
		OE03	生成 AI を活用した最適なシステム運用とは	7	
		OE04	運用業務で活かせる生成 AI の有効活用方法	8	
		OE05	運用引継ぎを効率よく実施するための方法	9	
		OE06	運用引継ぎの DX 対応(デジタル化)研究	8	
		OE07	運用現場からのカスタマーサクセス活動研究	6	
				東日本システム運用研究部会合計	69
			東日本合計	142	
中部	中部情報活用	IN01	業務への AI 活用	9	
	中部システム運用	ON01	運用 DX への取り組み	5	
				中部合計	14
西日本	西日本合同	GW01	業務変革と IT 活用	16	
		GW02	AI TRISM を学び生成 AI を正しく活用する方法	5	
		GW03	デジタル技術を利用した自動化システムの市民化	6	
		GW04	AI 活用で業務ミスをなくす IT 運用最適化の実現	8	
		GW05	AI 拡張型開発による次世代システム構築の新潮流	7	
		GW06	コミュニケーションの深化がもたらす心理的安全性とチーム生産性への効果	7	
			西日本合計	49	
九州	九州情報活用システム運用	IKOK01	生成 AI を活用した業務効率化	12	
				九州合計	12
			合計 105 社	217	
			2023 年度 92 社	195	
			+13 社	+22 名	

2. 研究部会運営会議

研究部会の運営、研究部会間の調整等について、各研究部会代表とユーザ会幹事の代表が討議する研究部会運営会議が以下のとおり開催された。

通算回数	月日(場所)	内 容
第 62 回	2024.4.24 (ハイブリッド開催)	<ul style="list-style-type: none">・ 2023 年度研究部会活動について<ul style="list-style-type: none">- 研究グループ参加者数- 2023 年度研究活動賞表彰結果について- 2023 年度シンポジウムアンケート結果について- 2023 年度活動について研究部会代表よりご報告・ 第 40 回ユーザシンポジウム報告・ 2024 年度ユーザ会スケジュールについて・ 2024 年度の研究グループ申込み状況について・ 2024 年度研究部会運営について・ 代表・副代表、幹事間の意見交換について・ 第 41 回ユーザシンポジウムについて・ 第 61 回運営会議での検討事項・ 2024 年度研究部会イベント・ 九州地区の研究部会名について・ 連絡事項
第 63 回	2024.11.6 (ハイブリッド開催)	<ul style="list-style-type: none">・ 2024 年度活動について・ 2024 年度 UNIRITA ユーザシンポジウムの開催について・ 2024 年度 研究発表要領について・ 2024 年度 評価方法について・ 冬の全体会について・ 来年度研究テーマと研究メンバの募集について・ 研究部会名について・ 評価項目の再考について・ 今後のスケジュールについて

3. 研究部会活動

1) 春の全体会

月日(場所)	内 容
2024.5.23 中部合同 (ウインクあいち)	<ul style="list-style-type: none">・ 開会・春の全体会アジェンダ紹介・ UNIRITA ユーザ会 中部幹事・中部地区代表紹介・ 2024 年度研究部会の活動スケジュール・活動の流れについてご紹介・ 録画視聴・ ワークショップ(カードゲーム)・ 各研究グループでの討議・ 各研究グループの代表者からの発表・ UNIRITA ユーザ会事務局からの連絡事項・ 代表幹事からのご挨拶・ 懇親会
2024.5.24 東日本合同 (TKP ガーデンシティ PREMIUM 品川 HEART)	<ul style="list-style-type: none">・ アジェンダ紹介と幹事・研究部会代表・副代表の紹介・ 2024 年度研究活動スケジュール・研究活動の流れ・ チームコミュニケーションの活性化ワークショップ・ 各研究グループでの討議・ 研究グループの代表者からの発表・ 2023 年度 最優秀活動賞 研究グループ(IE01) 発表・ 幹事・研究部会代表・副代表からの総括・ UNIRITA ユーザ会事務局からの連絡事項・ 懇親会
2024.5.28 九州 (リファレンス駅東ビル 会議室)	<ul style="list-style-type: none">・ 開会のご挨拶・役員ご紹介・ ユーザ会活動について・ 2023 年度 審査員特別賞 研究グループ(IKOK01) 発表・ 2023 年度 最優秀活動賞 研究グループ(IE03) 動画上映・ UNIRITA ユーザ会事務局からの連絡事項・ 研究グループ討議・写真撮影・ 研究グループ活動計画発表・ 懇親会
2024.5.29 西日本合同 (TKP ガーデンシティ大阪リバ ーサイドホテル)	<ul style="list-style-type: none">・ 開会のご挨拶・役員ご紹介・ ユーザ会活動について・ 2023 年度 優秀活動賞 研究グループ(GW03) 発表・ 2023 年度 最優秀活動賞 研究グループ(IE03) 動画上映・ UNIRITA ユーザ会事務局からの連絡事項・ 研究グループ討議・写真撮影・ 研究グループ活動計画発表・ 総評・ 懇親会

2) 冬の全体会

月日(場所)	内 容
2024.12.6 東日本合同 (TKP 赤坂カンファレンスセンター)	<ul style="list-style-type: none"> ・ アジェンダの共有 ・ 代表・副代表の挨拶(東日本情報活用・東日本システム運用) ・ 各グループからの発表 ・ 発表要旨・プレゼン資料作成講義 ・ 研究グループ別討議 ・ 総評 ・ UNIRITA ユーザ会事務局からの連絡事項 ・ 懇親会
2024.12.10 中部合同 (ウインクあいち)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 開会・本日のスケジュール説明 ・ 各グループ活動報告とフィードバック ・ グループ討議 ・ シンポジウム発表枠決め ・ UNIRITA ユーザ会事務局からの連絡事項 ・ 代表幹事からの締めご挨拶 ・ 懇親会
2024.12.11 九州地区 (株式会社インフォセンス様 会議室)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 開会 ・ 研究グループ活動報告とフィードバック ・ グループ討議(50分) ・ UNIRITA ユーザ会事務局からの連絡事項 ・ 総評 ・ 懇親会
2024.12.13 西日本合同 (TKP 心斎橋駅前 カンファレンスセンター)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 開会 ・ 各グループからの発表とフィードバック ・ グループ討議 ・ UNIRITA ユーザ会事務局からの連絡事項 ・ 総評 ・ 懇親会

3) グループリーダ会議

月日(場所)	内 容	出席者数
2024.9.12 西日本・九州合同 (オンライン開催)	<ul style="list-style-type: none"> ・代表・副代表ご挨拶 ・状況報告 ・UNIRITA ユーザ会事務局からの連絡 ・総評 	35 名
2024.9.25 東日本情報活用研究部会 (ユニリタ本社)	<ul style="list-style-type: none"> ・はじめに ・グループリーダ会議の目的について ・グループディスカッション(ワールドカフェ方式) <ul style="list-style-type: none"> ・すべて終わった時に達成感を得るためには ・上手く研究活動を運営していくためには ・ディスカッション後の研究グループ内振り返り ・ディスカッションの振り返り結果の共有 ・代表副代表からのコメント 	33 名
2024.9.26 東日本システム運用研究部会 (ユニリタ本社)	<ul style="list-style-type: none"> ・開会のごあいさつ ・研究グループ毎の進捗報告 ・各研究グループ報告に対するフィードバック ・研究グループ毎に討議 ・研究グループ毎に 10 月以降の活動スケジュール・進め方の発表 ・総括 	52 名
2024.10.4 中部合同 (ウインクあいち)	<ul style="list-style-type: none"> ・開会・本日のスケジュール説明 ・活動状況報告(IN01) ・活動状況報告(ON01) ・各研究グループでの討議 ・UNIRITA ユーザ会事務局からの連絡事項 	21 名

4. 情報交換のための研究活動

1) マネジメント研究会

通算回数	月日(場所)	内 容	出席者数
第 157 回	2024.6.28～29 京都機械工具株式会 社様施設(KTCものづ くり技術館) 会議室	「『工具の進化とデジタルツールによる課題解決』へのお取り組み について」 京都機械工具株式会社 T&M 推進本部 TRASA ソリューション営業部 ソリューション営業主任 古城 晃様	17 社 34 名
第 158 回	2024.9.6～7 大分空港 レセプションルーム	「DX リテラシー向上のための全社活動について」 出光興産株式会社 デジタルICT推進部 企画担当部長 兼 企画課長 松木 敬吾 様	15 社 22 名
第 159 回	2024.11.8 ANA システムズ株式 会社様 会議室	「『Smart-K』にみる、製造 DX の最前線とデジタル活用による 組織のあるべき姿」 川崎重工業株式会社 航空宇宙システムカンパニー 航空宇宙生産本部 生産企画部 部長 酒井亨 様	21 社 31 名

2) IT セミナール

通算回数	月日(場所)	内 容	視聴者数
第 8 回	2024.7.25 (オンライン開催)	『・講演:NIST サイバーセキュリティフレームワークを生かした 具体的なセキュリティ対策 ～ランサム攻撃で事業をストップさ せないために～』 株式会社 GRCS GRC ソリューション部 シニアコンサルタント 永松 博志様	52 名
第 9 回	2024.11.12 (オンライン開催)	『NIST SP800-171 準拠とは?』 株式会社 GRCS GRC ソリューション部 シニアコンサルタント 永松 博志様 『被害実態から考えるリスクベース管理と予防的アプローチ』 株式会社ブロード 第二セキュリティ事業部 ディレクター 小出 和希様 株式会社 GRCS ソリューション戦略部 セキュリティコンサルタ ント 北島 康晴様	24 名

第2号議案 2024年度 決算報告

1. 2024年度決算

2024年1月1日 ~ 2024年12月31日

◆ 収入の部

		(単位:円)	
		予算	決算
前年度繰越金		1,000,000	1,000,000
年会費収入計		5,700,000	5,519,560
	(@30,000×190社)		(@30,000×183社)
全体会(春・冬)		1,200,000	888,000
合宿費		2,250,000	2,632,000
マネジメント研究会		260,000	338,000
懇親会等 参加費		3,710,000	3,858,000
会員からの収入計		9,410,000	9,377,560
協賛金(ユニリタ)		2,500,000	4,363,401
収入合計		12,910,000	14,740,961

◆ 支出の部

		(単位:円)	
		予算	決算
研究会費		6,260,000	6,200,713
合宿費		2,700,000	3,658,244
共通費		1,550,000	2,681,998
「シンポジウム会計」への総会費用の負担		400,000	400,000
各会開催費用		10,910,000	12,940,955
前年度研究部会活動費		1,000,000	800,006
次年度繰越金		1,000,000	1,000,000
支出合計		12,910,000	14,740,961

2. 第40回ユーザシンポジウム・総会 収支報告

◆ 収入の部

		(単位:円)	
		予算	決算
シンポジウム参加費		30,000,000	24,455,200
出展料		4,640,000	8,033,500
懇親会等 参加費		460,000	396,000
「本会計」からの総会費用の受入		400,000	400,000
参加者等からの収入		35,500,000	33,284,700
補助金(ユニリタ)		30,000,000	32,031,287
収入合計		65,500,000	65,315,987

◆ 支出の部

		(単位:円)	
		予算	決算
宿泊費		15,500,000	13,028,915
飲食費		9,000,000	11,870,029
会場費		40,000,000	39,317,043
懇親会運営費		1,000,000	1,100,000
支出合計		65,500,000	65,315,987

2024年度のUNIRITAユーザ会の決算について、関係書類を調査の結果、正確であることを認めます。

会計幹事 株式会社ユニリタ

野村 剛

2025年1月22日

監査担当 第一生命テクノクロス株式会社

井上 勝

第3号議案 役員改選の件

2025年度役員紹介(敬称略)

会長		副会長					
							
<p>後藤 聖央 ソニー生命保険株式会社 執行役員 IT デジタル戦略本部 本部長 兼 同本部 グループウェア 開発部 統括部長</p>		<p>田中 久子 SOMPOシステムズ株式会社 常務執行役員 IT サービス第一本部長</p>					
幹事		幹事		幹事		幹事	
							
<p>河村 優司 さくら情報システム株式会社 常務執行役員 業務ソリューション事業本部長</p>		<p>井上 勝 第一生命テクノクロス株式会社 M3Harbor推進部長 兼 StudioXedge部長</p>		<p>深沢 修 旭化成アミダス株式会社 業務支援事業部 シニアマネージャ</p>		<p>中俣 幸二 株式会社リコー デジタル戦略部 コーポレートIT統括センター ITインフラ統括室 クラウド推進グループ</p>	
幹事		幹事		幹事		会計幹事	
							
<p>澤井 隆慶 出光興産株式会社 デジタル・ICT 推進部 次長</p>		<p>廣瀬 真一 ANA システムズ株式会社 上席執行役員</p>		<p>水野 泰宏 日東工業株式会社 執行役員 DX 統括部長</p>		<p>野村 剛一 株式会社ユニタ 取締役 上席執行役員 プロダクトサービス事業本部 本部長・部長</p>	
幹事							
							
<p>佐伯 寿雅子 株式会社ユニタ 営業本部 副本部長 セールスプランニング部 部長 営業推進グループ グループリーダー</p>							

第4号議案 2025年度活動計画案承認の件

1. 研究部会運営会議

研究部会の運営、研究部会間の調整、ユーザシンポジウムの企画・運営等について、各研究部会代表とユーザ会幹事の代表が討議を行います。4月、11月に開催を予定しています。

2. 研究部会活動

地域性を重視した研究活動を行い、世話役として代表/副代表が各地区を担当します。研究グループは地区別に募集を行います。他地区の活動内容で興味のある方は、他地区の研究部会にも参加可能です。

1) 地区一覧

地区名	対象
東日本地区	北海道・東北・関東・甲信越
中部地区	東海・北陸
西日本地区	近畿・中国・四国
九州地区	九州・沖縄

2) 研究活動内容

各研究部会では、1年を通じてテーマごとにグループで研究活動を行い、3月のユーザシンポジウムで研究成果を発表します。また、春は研究グループのキックオフ、冬は研究の進捗報告および研究グループ相互の情報交換を目的とした全体会を地区毎に実施し、親睦を深めるための懇親会を適宜行います。

研究部会名	内容
情報活用研究部会	あらゆる情報をビジネスの中に効果的に活用する方法や技術・事例をテーマにした研究を行います。
システム運用研究部会	ビジネスに貢献するITサービスの実現に向けたシステム運用に関する技術・事例をテーマにした研究を行います。
合同研究部会/研究部会	情報活用研究部会とシステム運用研究部会が連携して協力する技術・事例テーマにした研究を行います。

《スケジュール》

・2025年5月	春の全体会	↑ 研究グループ活動(月1~2回程度) ↓ グループリーダ会議(各部会1回)
・2025年12月	冬の全体会	
・2026年3月	ユーザシンポジウム	

3) 情報交換のための研究活動

名称	内容
マネジメント研究会	全国の部門長・マネージャークラスの方々を対象に、マネジメントの立場から見た情報システムにまつわる最新の話題を幅広く取り上げ、情報交換を行う。
IT セミナール	半歩先行くテクノロジー、IT 関係の仕事に携わる方が参考になる目から鱗の事例をテーマにとした講義あるいは、討議・情報交換を行う。 また、1つのテーマを小人数の同一メンバーで2~3回に渡り討議・情報交換するための勉強会を行う。

4) その他活動

1day セミナー	事例・新技術発表会・新バージョン説明会等の1日のセミナーを年数回開催。
-----------	-------------------------------------

上記のほか、会員に有益と思われる企画を随時開催する予定です。

第5号議案 2025年度 予算案承認の件

2025年度予算案

2025年1月1日 ～ 2025年12月31日

◆ 収入の部

		2025年 (単位:円)
		予算
前年度繰越金		1,000,000
年会費収入計(@30000×190社)		5,700,000
全体会(春・冬)		1,080,000
合宿費		3,240,000
マネジメント研究会		290,000
懇親会等 参加費		4,610,000
会員からの収入計		10,310,000
協賛金(ユニリタ)		4,500,000
収入合計		15,810,000

◆ 支出の部

		2025年 (単位:円)
		予算
研究会費		6,910,000
合宿費		4,400,000
共通費		2,100,000
「シンポジウム会計」への総会費用の負担		400,000
各会開催費用		13,810,000
前年度研究部会活動費		1,000,000
次年度繰越金		1,000,000
支出合計		15,810,000

第41回ユーザシンポジウム・総会 予算案

◆ 収入の部

		2025年 (単位:円)
		予算
シンポジウム参加費		27,000,000
出展料(パートナー参加費込み)		6,750,000
懇親会等 参加費		480,000
「本会計」からの総会費用の受入		400,000
参加者等からの収入		34,630,000
補助金(ユニリタ)		33,000,000
収入合計		67,630,000

◆ 支出の部

		2025年 (単位:円)
		予算
宿泊費		15,500,000
飲食費		10,000,000
会場費		40,000,000
懇親会等 運営費		2,130,000
シンポジウム運営費(会場費等)		67,630,000
支出合計		67,630,000

第6号議案 会則(付属書)の改定

幹事会にて、以下の承認をいただきましたので、ご報告いたします。

1. グループ会社について

2024年7月1日付けで、株式会社ビーティスが株式会社ユニタと合併いたしました。
これに伴い、付属書Ⅲ.株式会社ユニタのグループ会社の記載から削除いたします。

2. 研究部会名の変更

以下の地区では、情報活用とシステム運用とで分け隔てなく活動しているため、研究部会名を変更いたします。

<西日本地区>

変更前:情報活用研究部会・システム運用研究部会・合同研究部会

変更後:「西日本研究部会」に統一

<九州地区>

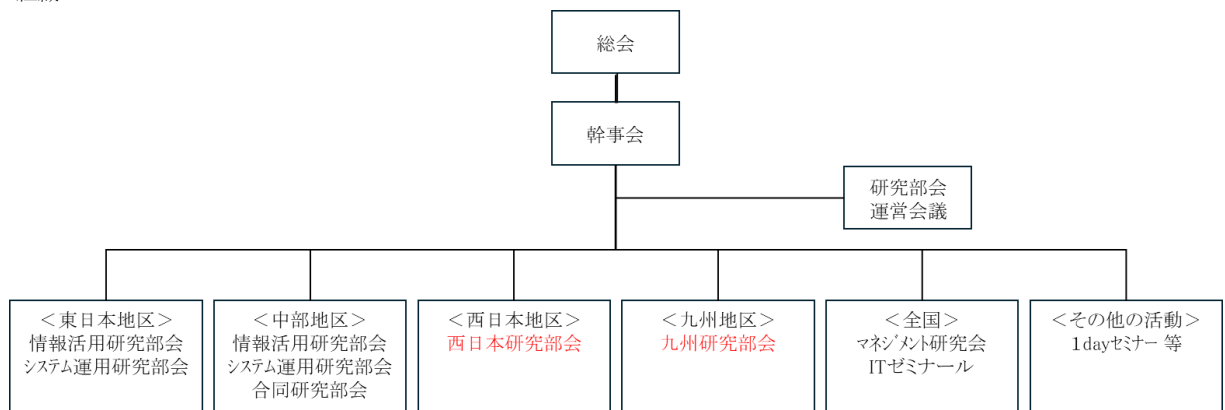
変更前:情報活用研究部会・システム運用研究部会

変更後:「九州研究部会」に統一

これに伴い、付属書Ⅱ.組織および役割に記載の研究部会名を変更いたします。

Ⅱ. 組織および役割

イ. 組織



ロ. 役割

西日本地区

近畿・中国・四国地方を対象とし、西日本研究部会より構成され、活動計画に基づく技術交流を行い、研究部会・発表会・研修会等を開催する。

九州地区

九州・沖縄地方を対象とし、九州研究部会より構成され、活動計画に基づく技術交流を行い、研究部会・発表会・研修会等を開催する。